

### 【内の倉ダム】

- ・建設後約40年が経過し、ゲートの腐食、消耗部品の損傷が進行。
- ・ダム監視設備や電気設備の機器の耐用年数の超過等により、維持管理に支障。



写真 19. 内の倉ダム



写真 20. 制水ゲートの劣化



写真 21. 電気設備の劣化

### 【頭首工】

- ・各頭首工において、洪水吐堰柱のひび割れ、固定堰部の摩耗、ゲートの腐食や水密ゴムの損傷により水密性が保たれないなどの不具合が発生。



写真 22. 固定堰の摩耗  
(大庄屋江頭首工)



写真 23. 土砂吐ゲートの腐食  
(加治川第1頭首工)



写真 24. 堤柱のひび割れ  
(加治川第2頭首工)

### 【用水路】

- ・継目のズレや目地の損傷、部分的なひび割れや摩耗が進行。



写真 25. 継目のずれ



写真 26. 目地の損傷による漏水

加治川地区の農業用水は、生活用水、防火用水、生態系保全、景観保全・親水など、地域用水としても利用されている。特に優良米を産した米蔵に由来し、江戸時代の街道宿駅であった米倉集落（463名：H24年12月末時点）では、幹線水路から分水された用水が集落内を流れ、一部各家庭の池にも引水されるなどしながら、農地まで配水されており、今も江戸期以来の風情を残しつつ、地域用水としての機能を発揮している。

また、米倉地区では、平成23年度より約40haにおいて、水田の貯留機能を増進する取組（図87）が進められている。



図86. 加治川地区（米倉集落）における地域用水機能

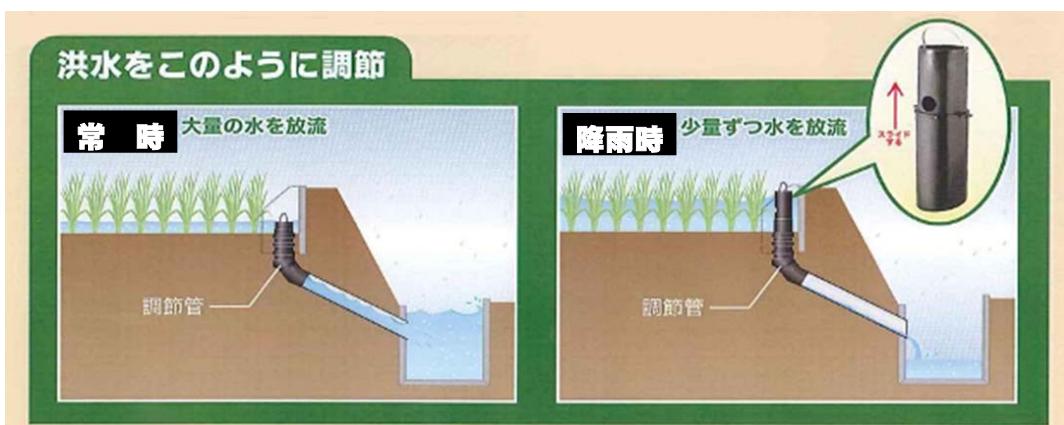


図87. 田んぼの貯留機能の向上の仕組み